

学校を地域住民の生涯学習活動&福祉の拠点
＝スクール・コミュニティにした
習志野市立秋津小学校&秋津コミュニティ 32年の実践

秋津の標語

**できるひとが、
できるときに、
無理なく、楽しく！**



2012年11月

【秋津のまち紹介ホームページ】 <http://www.akitsu.info/>

秋津コミュニティ

千葉県習志野市秋津 3-1-1 秋津小学校 1階 秋津小学校コミュニティルーム内

<習志野市立秋津小学校とPTA & 秋津コミュニティの「学社融合」32年間の変遷概要>

- ◆1980年4月 東京湾の埋立地に秋津のまちとともに幼稚園を併設した習志野市立秋津小学校が誕生
- ◆1982年度 地域の読み聞かせサークルによる国語の授業としての「学校おはなし会」開始、現在に至る
- ◆1983年度 児童数最大の1148名29学級(45人学級時代)、教職員44名
- ◆1986年度 PTA規約改正「子どもの健全な成長をはかること」「学校の人事や管理に干渉しません」を廃止し「会員相互の理解と資質向上をはかることを目的とし、本会与学校は互いに干渉することなく立場を尊重しあい、目的達成のために協力します」に変更⇒以後、その「目的」を「授業の協働」で具現化へ
- ◆1990～92年度 習志野市教育委員会より生涯学習の研究指定。PTA内に保護者研究部会創設、後の秋津コミュニティに発展
- ◆1991年度 秋津小学校PTA創立10周年記念事業として「飼育小屋」新築。お父さんたちの学校デビューとなり今日まで続くきっかけとなる。
- ◆1992年2月 秋津コミュニティの前身団体「秋津地域生涯学習連絡協議会(地学連)」発足。学校を拠点に保護者や住民の生涯学習活動がいつそう活発化
 - ・同年4月から、学校の「クラブ活動」に保護者や地域の大人も参画するように改変。「学社融合」の芽生え
 - ・同年9月 第1回千葉県生涯学習フェスティバル(文部省の「第1回まなびピア」)に「創作秋津オペレッタ」の上演で432人が参加。千葉市の政令指定市記念で新築された幕張メッセの大イベントホール行事として。
 - ・同年9月 学校週5日制開始(第2土曜日、月1回)、その後93年度から月2回、2002年度から土曜日全休
- ◆1993年度 第1回秋津っ子まつり(児童会主催)開始。地域主催の「秋津まつり」開催の土曜日午前中に、地域の大人も多数参加しての学社融合
- ※1999年からの月2回の学校週5日制実施に伴い、週日に移行し現在に至る
- ◆1994年度 千葉県指定「福祉教育推進校」。社会福祉協議会秋津支部との交流活発化。同支部主催「サロンあきつ(高齢者の居場所づくり)」は後に秋津小学校コミュニティルームで開催となり今日に至る。
 - ・1995年2月 「ごろごろとしょしつ(低学年用)」をお父さんたちが手づくり。お父さんたちの学校再デビュー
- ◆1995年9月 秋津小学校コミュニティルーム開設。地学連を「秋津コミュニティ」と改称。秋津コミュニティの51人の委員が重任するかたちで「秋津小学校コミュニティルーム運営委員会」発足。鍵も15人の役員が預かり自主運営開始。さまざまな自主サークル発足と活動活発化
- ※余裕4教室、畑用敷地約300㎡、陶芸窯が開放施設、教育長が管理責任者となり校長の負担を軽減
 - ・同年10月 秋津小学校コミュニティルーム(CR)の1室を改造して「お化け屋敷」開始(秋津まつりに協賛)
- ◆1996年度 「学校と地域の合同運動会」開始。後の2000年から5・6年生が踊る「ソーラン節」を秋津コミュニティのサークル・民謡どんつくが生演奏開始、現在に至る
 - ・同年10月 「秋津っ子バザー+秋津っ子遊びの広場」開始(秋津コミュニティ主催 秋津まつりに協賛)
- ◆1997年度 宮崎稔校長が応募して「読売教育賞地域社会教育活動部門最優秀賞」受賞。50万円はビオトープ造成の費用に充当
 - ・同年7月「防災被災訓練を兼ねた一泊キャンプ」を秋津コミュニティ主催で開始
- ※2011.3.11 東日本大震災の際にCRが避難所として3日間使われた
 - ・同年8月「学校と地域の融合教育研究会」発足 当時の宮崎稔校長が会長、岸裕司秋津コミュニティ会長が副会長 HP開設 <http://yu-go-ken.net>
 - ◆1998年10月【秋津のまち紹介HP開設】 <http://www.akitsu.info>
 - ◆1999年1月 地域の篤志家による100万円の寄付により「秋津果樹園」が校庭に完成。柿・ビワ・梅など6種。実は子どもが食べる
 - ◆2000年度 秋津コミュニティが文部省施策「地域で学ぶ子ども外国語学習」を受託。市内の小学生を対象に英語、韓国・朝鮮語、スワヒリ語・ネパール語の簡単な言語や食べ物・服装などの学習を実施



読み聞かせの「学校お話し会」1982年～



お父さんたちが飼育小屋を新築。1991年



創作秋津オペレッタの練習風景 1992年



コミュニティルームで紙漉き教室



防災被災訓練を兼ねた一泊キャンプ 1997年～

- ◆2000年度 秋津のまち誕生 20周年記念として秋津コミュニティの発案による7つの行事実施 ①校庭で3夜連続「野外劇(蚊帳の海一座)」②校庭に手掘り井戸掘り③ケナフを栽培して「紙すき」④すいた紙に願いを書いて「タイムカプセル」に埋設⑤秋津のまち探検ウォークラリー⑥「秋津音楽亭(秋津コミュニティの音楽系サークルと児童生徒の音楽会)」の再開⑦「まち誕生 20周年記念誌」の発行



防災井戸掘り 2000年夏

- ・同年6月 ビオトープ完成(約420㎡、田んぼ、大池に循環する小川など)校庭の公園化
- ◆2001年3月 PTA創立20周年記念で「第2飼育小屋」新築 お父さんたちも活躍
- ◆2001年5月 秋津コミュニティの総会で橋村清隆が会長に就任。岸は顧問になる
- ◆2001年度 教育委員会より「情報教育(インターネット)」研究指定校(2年目)
- ・同年5月「習志野ベイサイドスポーツクラブ」発足(1中学校・3小学校区)、2007年にNPO法人化
- ・同年 幼稚園の飼育小屋改築(実質新築・第3飼育小屋)お父さんたちも活躍
- ◆2002年度 文部科学省より「新しいタイプの学校運営の在り方に関する実証研究」指定校(3年間)
- ・研究指定充実のための「地域学校協議会」創設。学社融合の仕組みをいっそう整備
- ◆2003年度 児童数319人にまで減少し最底数。12学級(40人学級制度)、教職員数27名にまで減る
- ・同年 文部科学省より「新しい教育課程の編成に関する研究指定校」になる(2年間)
- ・同年研究指定により「人間だいすきふれあい科(のちに「科」を「活動」に変え現在も実施)」を創設
- ◎2004年9月 コミュニティ・スクール(「学校運営協議会」制度)法制化
- ◆2005年度 文部科学省より「コミュニティ・スクール推進事業」の委託校(2年間)
- ・同年 千葉県社会福祉協議会より「福祉教育推進校」の研究指定校(2年間)になる
- ・同年 千葉県教育委員会より秋津小学校が「千葉県教育功労賞」受賞
- ◆2006・07年度 秋津コミュニティが文部科学省の「地域子ども教室」を受託(融合研からの再委託)。解除後の現在も「秋津・地域であそぼう!」教室として継続。水彩画・工作・民謡・ハイキング他。放課後や休日240日開催
- ◆2006年11月 習志野市教育委員会より「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」の設置校になる
- ※千葉県内初、2011年9月に香取市立栗源小学校と栗源中学校が千葉県内で2番目のコミュニティ・スクール指定
- ・従来の「地域学校協議会」を「パートナー会議」に改組、現在に至る
- ・同年 こども環境学会賞受賞・こども環境活動賞部門(学校と地域の融合教育研究会10年の諸活動に対して)
- ◆2009年6月 千葉県生物多様性体験学習推進事業を受けビオトープの改修開始(秋津のまちと学校誕生30周年記念事業の一環)
- ◆2010年8月 秋津コミュニティがNPO法人日本教育再興連盟(河村健夫元文部大臣理事長)より「スクール・コミュニティの先駆者」として表彰される
- ◆2012年現在 開校と秋津のまち誕生32年目

※児童数は2004年度より増え始め9年連続350名前後で推移。新興住宅地で子ども数が増えるのは稀有な現象



各種のクラブ活動も地域の大人と一緒に協働 1992年～現在

- ※秋津コミュニティの登録団体数30+PTAなどの地縁団体登録数8 ※以下が秋津コミュニティの主な生涯学習サークル
- 工作クラブ(各種のモノづくりや改修)、秋津陶芸同好会、秋津パソコン倶楽部、デジカメ愛好会、秋津合唱サークル、劇団蚊帳の海一座、演劇集団駄菓子屋本舗、うらの畑(開放敷地の活動団体)、手芸サークル、秋津・地域であそぼう!(放課後や休日の子どものと大人の「居場所づくり」)、手芸サークル、民謡どんつく、英会話サークルRainbow、鼓舞太クラブ(太鼓)、笛の会、秋津食の研究会、秋津ほか面愛好会、M&K jazz Work Shop、秋津サッカークラブ、秋津ボーイズ(子ども野球)、秋津ユニホッケークラブ、秋津ミニバスケットボールクラブ、秋津体操クラブほか
- ・秋津小学校コミュニティルームの年間利用者総数約1万2千人
- ・秋津小学校の各種の行事や「人間だいすきふれあい活動(地域の大人との学社融合)」への参加者総数約2万人

- ◆今後の展望 秋津のまちの価値=ソーシャルキャピタルをいっそう高め、Uターン・Iターンする若者家族を増やしサスティナブルタウンをめざす。

卒業生や地域の人々も参加する学校と地域の合同運動会 1996年～現在



子縁（こえん）を通して仲良くしましょ！

1. 秋津コミュニティの活動

秋津コミュニティは、「自助、共助、最後に公助のまち育て！」を活動と運営理念にしながら、秋津小学校区に居住・勤務されている人々すべてを対象に、一人ひとりの趣味やスポーツ・文化的な楽しみを、継続的に出来るように応援する、地域の諸団体で構成された生涯学習を推進する任意団体です。

その発足は、秋津小学校が市の「生涯学習研究指定校」になったことに始まります。

現在は年間を通して、学校や他の団体（幼稚園・保育所・学童ほいくや小学校及び各PTA、秋津まちづくり会議ほか）との共催を含め、「一人ひとりが無理なくやれることを楽しみながら」以下のような活動を行っています。

- ①秋津小学校コミュニティルーム（CR）の管理・運営
- ②秋津小学校とさまざまなサークルとの授業の協働（「学社融合」）のコーディネート
- ③秋津小学校と地域の大運動会（地域の部の企画・運営実施）
- ④秋津まつりでのお化け屋敷や秋津っ子バザー（設営・実施・収益金のボランティア団体への寄付）
- ⑤防災被災訓練を兼ねた幼稚園園庭での1泊キャンプ（企画・運営）
- ⑥年末の親睦おもちつき&コミュニティルームの利用サークルによる大掃除
- ⑦新習志野公民館「生涯学習フェスティバル」への参画とボランティア団体支援お餅つき
- ⑧秋津音楽亭（秋津コミュニティの音楽系サークルや地域の音楽家の発表会の企画・運営実施）
- ⑨秋津・地域であそぼう！（放課後や休日の子どもと大人の遊びと学びの各種教室）の企画・運営実施

2. 秋津小学校コミュニティルームの〈自主・自律・自己管理〉による生涯学習活動の推進・運営

秋津コミュニティ内には、秋津小学校の余裕教室4室(1階)と陶芸窯・畑用敷地を学校及び教育委員会からお借りして、鍵の管理貸し出しを含めて「楽しく、ゆっくり、“わたし流”に！」を掲げて利用者住民自治により自主的に運営する組織「秋津小学校コミュニティルーム運営委員会」があります。

- ①現在40ものさまざまなサークルや団体が登録して、自主的に活動をしています。
- ②サークルや団体にいたらない「私=ひとりの個人」でも利用できます。
- ③登録しなくても、空いていれば臨時に利用できます。簡単な利用の手続きは必要です。
- ④「利用の手引き」は、コミュニティルームの掲示板に掲示しています。
- ⑤利用は、無料です。朝9時～夜9時まで休校日を含めて使えます（盆暮れのみ休館）。
- ⑥鍵は秋津在住者15人が管理貸し出ししています。被災時は避難所の学校にすぐに駆けつけます。

<現在の自然豊かな秋津小学校> 写真：當本ふさ子 秋津デジカメ愛好会

